

参考資料

## 平成28年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
警 察 本 部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総額

### 【一般会計】

区分	平成28年度	平成27年度	伸び率
予算総額	143,978,378千円	140,816,414千円	2.2%
一般会計構成比	7.7%	7.7%	-

## II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

### 1 暮らしの安心・安全を確保する

#### (1) 防犯対策の推進と捜査活動の強化

P 1	新規 警察官の増員【警務課】	154,921
P 2	新規 ファシリティマネジメント推進事業【施設課】	148,700
P 3	所沢警察署庁舎建設費【施設課】	898,932
P 4	交番、駐在所建設費【施設課】 (債務負担行為)	9,461 (限度額 185,872)
P 5	朝霞警察署庁舎設計費【施設課】	568,758
P 6	一部新規 サイバー犯罪対処能力の向上【サイバー犯罪対策課】	68,584
P 7	振り込め詐欺シャットアウトプロジェクト【生活安全企画課】	122,097

#### (2) 交通安全対策の推進

P 8	新規 安全かつ快適な道路交通環境の整備【交通規制課】	523,467
	交通安全施設の整備【交通規制課】	1,610,901
	人にやさしい道路交通環境づくりの推進(事故防止対策)【交通規制課】	122,722
	人にやさしい道路交通環境づくりの推進(新設道路対策)【交通規制課】	563,011
	倒壊危険のあるコンクリート信号柱交換経費【交通規制課】	410,218
	自転車通行環境の整備【交通規制課】	7,710

## 警察官の増員

担当 警務課  
警察本部内線 2611

### 1 目 的

県民の生活に大きな不安と脅威を与える犯罪等の警察事象に的確に対処するため、警察官を増員し、安全で安心して暮らせるまちづくりのための活動体制の強化を図る。

### 2 事業の概要

- 警察官 64人の増員（警察官条例定数 11,396人 → 11,460人）

### 3 予算額

154,921千円

# ファシリティマネジメント推進事業

担当 施設課  
警察本部内線 2261

## 1 目的

警察施設の計画的な予防保全を実施することにより、長寿命化を推進し、トータルコストの縮減と整備費用の平準化を図る。

## 2 事業の概要

- 警察署4か所の予防保全改修
  - ・ 浦和警察署（外壁改修）
  - ・ 川口警察署（外壁改修）
  - ・ 狭山警察署（外壁・屋上防水改修）
  - ・ 本庄警察署（外壁改修）

## 3 予算額

148,700千円

# 所沢警察署庁舎建設費

担当 施設課  
警察本部内線 2261

## 1 目的

耐震性が不足し、狭あい、老朽化が著しい警察署を改築することにより、来庁者サービスの向上及び警察活動の効率化を図る。

## 2 事業の概要

### ○ 建設地

所沢市並木1丁目地内（現在地）

敷地面積 8,074㎡

### ○ 施設の概要

鉄骨鉄筋コンクリート造 5階建て

延べ床面積 約7,900㎡

### ○ 建設スケジュール

- ・ 平成27年度 調査設計
- ・ 平成28年度～31年度 建設工事

## 3 予算額

898,932千円

# 交番、駐在所建設費

担当	施設課
警察本部内線	2 2 6 1

## 1 目的

地域住民の安全と平穩を確保するため、地域に密着した警察活動の拠点となる交番、駐在所を計画的に整備し、治安体制の強化を図る。

## 2 事業の概要

- 交番4か所の改築
  - ・ 川口警察署並木町交番
  - ・ 川越警察署川越中央交番
  - ・ 飯能警察署日高交番
  - ・ 幸手警察署幸手駅前交番

## 3 予算額

- |               |     |                 |
|---------------|-----|-----------------|
| ○ 初度調弁費等      |     | 9, 4 6 1 千円     |
| ○ 建設費（債務負担行為） | 限度額 | 1 8 5, 8 7 2 千円 |

# 朝霞警察署庁舎設計費

担当 施設課  
警察本部内線 2261

## 1 目的

耐震性が不足し、狭あい、老朽化が著しい警察署を移転改築することにより、来庁者サービスの向上及び警察活動の効率化を図る。（調査設計）

## 2 事業の概要

### ○ 建設地

朝霞市栄町5丁目地内（税務大学校関東信越研修所跡地）

敷地面積 11,190㎡

### ○ 施設の概要

鉄筋コンクリート造 4階建て

延べ床面積 約7,300㎡

### ○ 建設スケジュール

- ・ 平成27年度 用地取得
- ・ 平成28年度 調査設計、既存施設解体
- ・ 平成29年度～31年度 建設工事

## 3 予算額

568,758千円

# サイバー犯罪対処能力の向上

担当 サイバー犯罪対策課

警察本部内線 704-351

## 1 目的

サイバー空間における脅威の深刻化に対処するため、サイバー犯罪対処能力の向上を図る。

## 2 事業の概要

サイバー犯罪捜査資機材及び訓練環境を整備するとともに、捜査員に対して民間事業者等の知見を活用した教養訓練を実施するほか、県民のサイバー空間における防犯意識向上のため、産官学が連携した取組を推進する。

## 3 事業計画

- 警察本部及び警察署におけるサイバー犯罪対処能力の強化（新規）
- サイバー犯罪の実際の犯行状況・手口を再現したロールプレイング訓練の実施（新規）
- 「埼玉サイバーセキュリティ推進会議」による産官学が連携した取組の推進
- サイバー犯罪対策技術顧問の委嘱
- 民間事業者等の知見を活用したサイバー犯罪捜査力・解析力の強化
- 解析用パソコン等資機材の運用

## 4 予算額

68,584千円



# 振り込め詐欺シャットアウトプロジェクト

担当 生活安全企画課

警察本部内線 3011

## 1 目的

依然として多発している特殊詐欺被害を防止するため、県民総ぐるみによる諸対策を推進する。

## 2 事業の概要

### ○ 振り込め詐欺抑止対策員による水際防止対策

警察官OBを非常勤職員として採用し、金融機関等における水際防止対策を推進する。

- ・ 振り込め詐欺抑止対策員 14人

### ○ 効果的な広報媒体を活用した広報啓発活動

高齢者世代が多く集まる場所での効果的な広報媒体を活用した被害防止活動を実施する。

### ○ 振り込め詐欺被害防止コールセンターによる被害防止対策

コールセンター事業者による注意喚起架電により、県民に直接注意を呼びかけ、特殊詐欺被害を防止する。

- ・ コールセンター事業期間の通年化

## 3 予算額

122,097千円

## 安全かつ快適な道路交通環境の整備

担当 交通規制課  
警察本部内線 5202

## 1 目 的

県内で実施される予定のオリンピック・パラリンピック等の国際大会の開催に伴い、先進的技術を導入した快適な道路交通環境を構築する他、老朽化した交通安全施設の更新・補修を集中的に推進する。

## 2 事業の概要

## ○ プローブ情報を活用した交通情報提供

高度化光ビーコンを通じて車両のプローブ情報（走行軌跡）を収集し、よりきめ細かい交通情報の提供を実現する。

## ○ 信号情報活用運転支援システムの整備

交通管制センターで算出した信号情報を、高度化光ビーコンを通じてドライバーに提供し、信号停止回数の低減や早期の減速開始により安全運転、及びエコドライブを促進する。

## ○ 歩行者感応式信号機の整備

横断歩道上の歩行者の有無により青信号の長さが調整可能な機能を信号機に付加し、大会会場周辺の歩行者の安全確保及び車両通行の円滑化を図る。

## ○ 老朽化した交通安全施設の更新

大会会場の周辺を中心に、老朽化した信号制御機や摩耗している横断歩道等の更新・補修を集中的に実施し、安全・安心な道路環境を推進する。

## 3 予算額

523,467千円